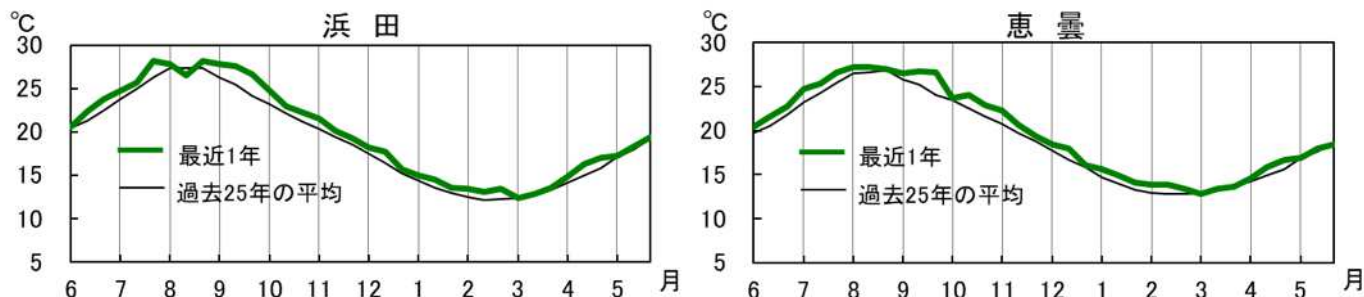




## 《5月の海況》



5月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	18.3	+0.1	平年並み	18.1℃	+0.1
中旬	平年並み			平年並み		
下旬	平年並み			平年並み		



## 《5月の漁況》

## 【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の1.4倍、マアジは平年の約2割でした。隠岐地区ではサバ類、マイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は84.5トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は7,823トンで平年の3.6倍、マイワシは2,599トンで平年並みでした。

## 【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではスルメイカが主体となり、1隻1航海当りの漁獲量は98.3kgで平年の約5割の水揚げでした。西郷地区（属人5トン以上）では、スルメイカが主体となり、1隻1航海当りの漁獲量は78.3kgで平年の約6割の水揚げでした。

## 【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、アナゴ・ハモ類、ケンサキイカ主体の漁況で、総漁獲量は188トンでした。1統1航海当りの漁獲量は9.9トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、キダイは平年の1.0倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.5倍、ケンサキイカは平年の9割でした。その他、マダイは平年の2.6倍、マアジは平年の1.3倍、アンコウ類およびアカムツは平年の9割、マトウダイは平年の8割、スルメイカは平年の4割、ムシガレイは平年の3割の水揚げでした。

## 【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではニギス、ソウハチ、アンコウ類主体の漁況で、総漁獲量は155トンでした。1統1航海当りの漁獲量は681kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ニギスは平年の9割、ソウハチは平年の5割、アンコウ類は平年の1.0倍でした。その他、スルメイカは平年の1.1倍、ヒレグロは平年の9割、アカムツ、マトウダイおよびムシガレイは平年の8割、アナゴ・ハモ類およびキダイは平年の6割の水揚げでした。

## 【定置網漁業】

出雲地区ではサバ類、ブリ、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は63.9トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の57倍、ブリは平年の1.6倍、マアジは平年の2.1倍でした。石見地区ではマアジ、サバ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は14.6トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジが平年の1.0倍、サバ類が平年の5割でした。隠岐地区ではブリ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は25.7トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の7割でした。

## 【釣り・縄】

出雲地区ではケンサキイカ、イサキ、アマダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は17.8kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の0.9倍でした。石見地区ではアマダイ、ケンサキイカ、イサキ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は17.0kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、アマダイは平年の1.1倍でした。隠岐地区では、ブリ、カサゴ・メバル類、マダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は24.7kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の2.2倍でした。

【令和6年5月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	—	—	—	—	—	—
	隠岐	サバ類、マイワシ	11,234トン	156%	138%	84.5トン	132%	126%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	1.9トン	14%	13%	98.3 kg	57%	49%
	西郷	スルメイカ	5.0トン	28%	28%	78.3 kg	76%	56%
沖合 底びき網	浜田	キダイ、アナゴ・ハモ類、ケンサキイカ	188トン	124%	81%	9.9トン	98%	81%
小型 底びき網	大田	ニギス、ソウハチ、アンコウ類	155トン	65%	70%	681 kg	75%	88%
定置網 (大型)	出雲	サバ類、ブリ、マアジ	831トン	159%	214%	63.9トン	159%	214%
	石見	マアジ、サバ類	58.4トン	57%	82%	14.6トン	57%	79%
	隠岐	ブリ	77.1トン	84%	73%	25.7トン	84%	73%
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ、イサキ、アマダイ	26.0トン	62%	64%	17.8kg	73%	71%
	石見	アマダイ、ケンサキイカ、イサキ	19.4トン	84%	74%	17.0kg	98%	93%
	隠岐	ブリ、カサゴ・メバル類、マダイ	15.5トン	71%	61%	24.7kg	136%	100%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

- ※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ  
「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ  
「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ  
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ